

No.2609

尾瀬・景鶴山

日時：5月3日(祝)～6日(日)

参加：右田(L)、鳴原、岡本、佐々木(記)

5月の連休に尾瀬の至仏山・景鶴山に登ってきました。特に日本300名山の景鶴山へは、残雪の残るこの時期にしか入山できない山です。木道と水芭蕉の尾瀬ヶ原も、植生の関係でこの時期限定の入山許可が出ています。

雨を避けて出発を1日遅らせて出発しましたが、今年は暖冬で思ったより雪が少なく、尾瀬ヶ原の植物や景観を楽しむ事ができました。

5/3(祝) 入山 <晴れ時々曇り>

昼過ぎに大阪を出発し、奈良経由で西名阪から高速を乗り継ぎ、関越道沼田ICから道の駅「白沢」21:30着、多くの車が駐車している中に混ざって仮眠。

5/4(祝) 至仏山 <晴れ後曇り時々雪>

朝2:30出発し、戸倉経由で鳩待峠へ向かう。50台収容(通常は120台)駐車場は満車で結局、戸倉の駐車場へ戻って乗合いタクシーで鳩待峠へ戻る(AM5:00)。

今年は雪解けが早く、夏期の交通規制に移行しているようだ。

至仏山までは600m強の登り、木道や小湿原を通して悪沢岳分岐へ。やはり雪が少なく、途中から見える景鶴山や燧ヶ岳(ひうちヶ岳)も雪は山頂付近と谷筋だけである。

小至仏山からは植生の為、尾根を巻くように雪道を山頂へ向かう。

至仏山山頂(2228m、8:05)は、残念ながらガスと霰で本来の眺めは無い。

一服していると、たくさんのハイカーが登ってくる。記念写真とアイゼンを付けて、急斜面の下山に取り掛かる(8:30)。



(鳩待峠)

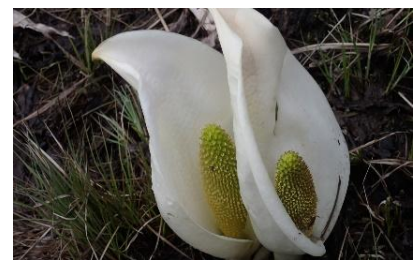


(小至仏山トラバースコース)



(至仏山山頂)

山道を抜けると木道になる、いよいよ尾瀬ヶ原だ。程なく山の鼻に着(キャンプ場、山小屋、ビジターセンター、10:00)。至仏山荘で、ビールで乾杯!ここからは、尾瀬ヶ原



の延々と続く木道を歩いて龍宮小屋へ(12:30)。途中ゆっくり休憩しながら、雲間に見える燧ヶ岳・至仏山を見て、例年ならまだ雪に覆われている尾瀬に今年は水芭蕉を楽しむ事が出来ました(なんだか、得した気分!)

龍宮小屋は、風呂や綺麗な水洗トイレがあり、食事も美味しく頂き、ゆっくり過ごせた。

5/5 (祝) 景鶴山 <晴れ時々曇り>

朝5:30起床、朝食後7:00出発。木道を少し戻り、竜宮十字路(標高1400m)からヨッピー吊橋を注意して渡って、東電小屋を目指す。

小屋の少し手前の湿地帯から景鶴山への尾根道へ入る為、藪道に分け入る(判りにくい)。例年なら雪道だが、今年は藪こきに悩まされる。すぐに東電小屋への水パイプの道を伝い、方向を確認しながら、笹山を右に見るように再び藪こきして尾根を目指す。

途中で私は、かけていた眼鏡が無い事に気付いて、皆さんに手分けして探してもらおうが見つからず、時間を取ってしまった。すいません、縁が無かったものとして、再び藪こきに挑戦する。徐々に雪とヤブが混入してくる。

1640mの地(8:55)、先ずは景鶴山の北東方向にある与作岳を目指し回り込む様に進むが、東側斜面は昨日、登山者が滑落してヘリで救助された斜面であり、急斜面である。

注意深く、できるだけ西側の尾根側のルートを探って歩く！

与作岳(1933m、10:10)、少々ではあるが雪が降りだす。慎重に先行者の雪の踏み跡を踏みしめて歩く。季節柄、鹿の鳴き声や熊の足跡を見る、注意！

景鶴山下、雪は凍てついていないが安全をみてアイゼンを付ける。山頂すぐ下の大きな丸い岩を回り込む様にして、もうひと踏ん張りして景鶴山山頂着(2004m、11:15)。

眺めは最高、5~6人で一杯になるような狭い山頂で昼食。藪こき、眼鏡事件の時に追い抜いて行った単独行の人が、一人昼食中であった。昼食まもなくして、ガイド連れか?3人パーティーが登ってこられた。この時期、けっこうたくさんの登山者が入っておられるものと感心した。記念写真を撮り下山(11:45)。



(尾瀬ヶ原から景鶴山)



(景鶴山から尾瀬ヶ原)



(景鶴山山頂)

途中、アイゼンをはずして与作岳に戻る(12:30)。東電小屋(14:15)、尾瀬ヶ原は眺め良好。帰りは少し時間を要するが、見晴れ小屋経由で帰る事にする。

見晴れ小屋(14:50)では、うまいビールで乾杯!。見晴れ小屋には、まだ閉まっている小屋はあるが、いくつもの小屋がある大きな所である。燧ヶ岳や尾瀬沼・三条の滝への基地的存在である。

またまた長い木道を歩きながら、快晴の尾瀬を楽しんで、たくさんのシャッターチャンスに恵まれました。龍宮小屋着(15:30)、ゆっくりと風呂に浸かり、夕食を楽しむ。連休も終盤、宿泊者は半分ほどになったようだ。

5/6 (日) 帰阪 <晴れ(大阪曇り後雨)>

6時、朝食。今日も食事がおいしい。昨日に引き続き、おひつにお代わりを貰いに行ったら、顔を覚えられたか?あきれ顔でお代わりしてくれた。

飲むわ、食うわ!大阪のオッサン4人の名を、尾瀬で売って来てしまった。

小屋出発(6:55)、長い木道の写真を撮りながら歩き、山の鼻着(7:58)。一服し最後

の尾瀬を楽しむ。 雪の残る道を辿って鳩待峠へ（8：55）。 家族連れハイカーなどが遊びに来ている。9時半のタクシー（980円/人、バスと同じ）で、戸倉駐車場へ（駐車料1000円/日）。



（尾瀬ヶ原から燧岳）



（木道と逆さ至仏山）

10時、大阪に向かって出発。 大きな渋滞もなく、無事帰阪。 嶋原さん、車の運転、長丁場、本当にお疲れさんでした。

景鶴山では、滑ったり、転んだり、ハマったり、色々ありましたが無事に楽しく下山できました。 右田リーダーはじめ嶋原さん、岡本さんのまだまだの元気ぶりに感服！

今後共、宜しくお願いします！！。



（鳩待峠への道）